

水稻・麦・大豆 栽培基準

付 水稻・麦・大豆奨励品種等特性表

令和 6 年 月

広 島 県

利用に当たって

- 1 この基準は、本県の水稲、麦、大豆栽培の指針であって、この利用に当たっては、地域の実情を考え、さらに具体化して品質の向上と安定生産のために活用してください。
- 2 本県の地勢は、標高が0～800mまであり、地形も複雑で、土壌の種類も多い等多岐にわたっています。近年は、気象の変動が大きく、高温障害、冷害、風水害、干害等の気象災害や病害虫などの被害を受けやすくなっています。

このため、品種の選定、土づくり、施肥の合理化、適切な病害虫防除、水管理など基本技術を忠実に励行し、作物体の充実と健全化を図ってください。
- 3 いずれの作目も、当年の気象・生育に合ったきめ細かな栽培管理に努めましょう。
- 4 水田で麦や大豆を栽培する場合は、乾田化対策が特に必要です。
- 5 病害虫防除や雑草の防除方法については、ひろしま農業情報に掲載している「広島県病害虫・雑草防除基準」を参照してください。

(<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/198/boujo-kijun.html>)

農薬の使用については、農林水産省ホームページの「農薬登録情報提供システム」をご利用ください。

(<https://pesticide.maff.go.jp/>)
- 6 広島県では、農産物を生産する上で農業者が守るべき基準を定め、それを実践するGAP (Good Agricultural Practice) の導入を勧めています。GAPには、認証制度としてJGAPやASIAGAP、GLOBALG.A.Pなどありますが、その導入に向けた入門書として、広島県では農林水産局農業技術課ホームページ「GAPの導入推進」の中で、「広島県GAP実践の手引」を掲載していますのでご活用ください。

(<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/84/gap-tebiki.html>)

目 次

I 水稻栽培基準	1
1 栽培地帯別の生育及び収量構成要素指標	2
2 稚苗移植栽培	4
2-1 稚苗移植栽培	4
2-2 疎植栽培	19
3 中苗移植栽培	21
4 乳苗移植栽培	25
5 湛水土中直播栽培	27
6 鉄コーティング湛水直播栽培	31
7 乾田直播栽培	36
8 酒米（心白米）栽培	39

〔参考資料〕

1 種子更新（水稻）	42
2 塩水選の方法（水稻）	44
3 種子の温湯消毒方法（水稻）	45
4 高密度播種による使用苗箱数削減技術（水稻）	47
5 人工床土類の種類と性状（水稻）	50
6 育苗被覆資材の種類と使用法（水稻）	51
7 浮き楽栽培法による水稻育苗	52
8 広島県農業地域区分別土壌型の特性	53
9 土壌型別管理法	55
10 有機物の施用法	56
11 土づくり肥料の施用法（水稻）	57
12 生育段階判定法（水稻）	58
13 基盤整備（表土扱い）後の水稻の施肥と土壌管理	61
14 ノビエ及び主要多年生雑草の葉令の数え方	62
15 畦畔管理等の改善による斑点米被害の軽減対策（水稻）	64
16 再生紙マルチ移植栽培（機械移植） 生育収量調査法（水稻）	65
17 水稻の硫黄欠乏について	67
18 玄米の検査規格	70
19 生育収量調査法（水稻）	72

II 麦栽培基準	75
1 品種	76
2 ほ場の選定	76
3 排水対策	76
4 種子の準備	76

5	土壤改良	77
6	施肥	77
7	耕起・整地	78
8	播種	79
9	除草	80
10	踏圧・排水	81
11	病虫害防除	81
12	収穫	81
13	乾燥・脱穀・調製	82

〔参考資料〕

20	生育収量調査法（麦）	83
21	麦の品質	86
22	一発施肥体系（麦）	88
23	ボトムプラウを利用した麦の播種工程	89

Ⅲ 大豆栽培基準 90

1	品種	91
2	圃場の選定	91
3	排水対策	91
4	土壤改良および施肥	91
5	耕起・整地	92
6	種子準備・播種	92
7	雑草防除	94
8	生育期間中の管理	94
9	病虫害防除	95
10	収穫	96
11	乾燥・調製	97

〔参考資料〕

24	不耕起狭畦栽培技術（大豆）	98
25	茎水分簡易判定法（宮城県古川農業試験場の方法）（大豆）	99
26	生育収量調査法（大豆）	100
27	大豆の検査規格	102

【付録】奨励品種等特性表 103

1	水稻	105
2	麦	109
3	大豆	110